

活動報告（県外・国外）

議員名：坂野 経三郎

活動事項	全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会
活動年月日	令和3年11月13日
場所	東京都千代田区平河町2丁目7-4
活動の相手方	家族会・救う会・拉致議連・知事の会・地方議員全国協議会
活動の目的	北朝鮮による拉致は、最大の人権侵害といえる。全拉致被害者の即時一括帰国は、当然のことである。解決しないままに、長い年月が経っている。「最大の人権侵害」である拉致被害に対し、全国民が力を合わせて、心を一つにして解決のために取り組むことを目的とする。
活動の内容	私は、「北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会議員連盟」の副会長という重責を担わせて頂いている。初当選以来、毎年欠かさず参加をしている。毎年参加しながら「ああ、今年もまた解決しなかった」と痛恨の思いである。再開を果たすことができないままに、お亡くなりになるご家族のことを思うと、心が痛い。解決しないままに、長い年月が経っていることを考えると、一刻の猶予も許すことはできないと考える。全国から一同に会し、気運を高める内容となった。
活動の結果等	<p>岸田総理大臣、松野官房長官兼拉致問題担当大臣をはじめ数多くの方が出席して、全国民で拉致被害者の即時一括帰国を強く求める集会となった。</p> <p>岸田総理は、挨拶の中で並々ならぬ決意と覚悟を示された。「岸田内閣の重要課題である」という認識を示された上で、「金正恩委員長と、条件をつけずに直接面会する決意である」という認識を示された。</p> <p>拉致被害者の御家族からも、「年々、高齢化しており、時間が残されていない」という切実なお訴えがあった。残された時間は、一日一日削られている。</p> <p>活動の結果としては、「機運醸成することができた」と言えることができる。しかし、機運だけ醸成して結果が伴わなければ意味がない。来年も、何の結果が出ることもなく、同じように集会をしても全く意味はないといえる。具体的に目に見える形で、拉致問題の進展を見せていくべきである。本当に中身のある結果として、拉致被害者の一括帰国を実現することが必要だ。岸田総理には、是非とも結果を残して頂きたいと考えると同時に、我々「北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会議員連盟」も、できる活動に邁進をしていかなくては、この集会に参加した意味はないのではないかと考える。</p>
関連領収書番号	3-9